

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんしゃだんほうじんにほんてれまんきょうかい			団体ウェブサイトURL
制作団体名	一般社団法人日本テレマン協会			
代表者職・氏名	代表理事 延原武春			
制作団体所在地	〒	530-0002	最寄り駅(バス停)	JR北新地駅・地下鉄西梅田駅
	大阪府大阪市北区曽根崎新地2-1-17			
電話番号	06-6345-1046			
ふりがな	てれまんしつないおーけすとら			団体ウェブサイトURL
公演団体名	テレマン室内オーケストラ			http://www.cafe-telemann.com/
代表者職・氏名	音楽監督 延原武春			
公演団体所在地	〒	530-0002	最寄り駅(バス停)	JR北新地駅・地下鉄西梅田駅
	大阪府大阪市北区曽根崎新地2-1-17			
制作団体 設立年月	1963年4月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	理事1名/監事1名 事務職員4名		団体構成員/テレマン室内オーケストラ 25名 加入条件/適宜行われるオーディションによる	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く		本事業担当者名	今井 良
経理処理等の 監査担当の有無	有		経理責任者名	奥田博子

<p>制作団体沿革</p>	<p>関西を中心に活動する18世紀音楽の専門団体。バロックからベートーヴェンまでを専門とし、ピリオド楽器(バロック楽器及びクラシカル楽器)とモダン楽器を使い分けることが出来る室内楽団です。1963年、作曲家テレマンの「音楽は楽しくあるべき」というモットーに感銘を受けた現音楽監督の延原武春が創設しました。</p> <p>主催公演としては大阪市中央公会堂と東京文化会館での定期演奏会(年間5公演程度)、大阪倶楽部でのマンスリーコンサート(年間10公演程度)、カトリック夙川教会での教会音楽シリーズ(年間4公演程度)などがあり、依頼公演も含めると様々な地域で年間100回以上の公演を実施しています。</p> <p>これまでに十数回の海外公演や多数のCDのリリース等、多方面にわたり精力的に活動を続けており、文化庁芸術祭優秀賞や第17回サントリー音楽賞、その他多くの賞を受賞しています。2019年には創設当時からの演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>令和3年度補正予算 子供のための文化芸術体験・鑑賞再興事業 18校(予定) 令和4年度県民芸術劇場 1校 一般 1校</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=qVPh8Z4i26c</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	弦楽合奏の魅力～バロックから近代まで～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【1.オープニング】A.ヴィヴァルディ:歌劇「オリンピアード」序曲 / 【2.楽器紹介】～弦楽器～ 【3.弦楽合奏の響き】J.S.バッハ:G線上のアリア / 【4.演奏を交えて「四季」の解説】A.ヴィヴァルディ:「四季」より 【5.体験プログラム】～ヴァイオリンを弾いてみよう～ 【6.チェンバロを聴いてみよう】J.S.バッハ:メヌエット※離島はリュートをを使用し、「リュートを聴いてみよう」に差し替え 【7.合奏協奏曲って何?】A.ヴィヴァルディ:「調和の靈感」作品3第8番 第1楽章 【8.体験プログラム】～バロックダンス～G.F.ヘンデル:「水上の音楽」第二組曲よりメヌエット -休憩- 【9.リコーダーの魅力】T.メルル:チャッコーナ/A.ヴィヴァルディ:室内協奏曲イ短調RV108 第1楽章 【10.体験プログラム】～指揮者体験コーナー～W.A.モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークより 【11.クラシックなのにポップス!?】L.アンダーソン:プリंक・ブランク・ブレンク、舞踏会の美女 【12.歌のコーナー】オペラ・アリアなど / 【13.体験プログラム】共演のコーナー(合唱による共演) 【14.弦楽合奏の魅力】O.レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア 第3番より / 【15.アンコール】校歌 ※詳細は別添A参照</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	<p>小編成の弦楽合奏による名曲をお届けいたします。前半は当楽団の専門分野であるバロック時代の演目からヴィヴァルディ「四季」やバッハ「G線上のアリア」といった定番の演目を中心に、後半には身近な楽器であるリコーダーが独奏を務める楽曲や歌曲の他、近代までの弦楽合奏の名曲を演奏いたします。時代背景や楽曲についての解説、体験コーナーなども盛り込み、「聴く」だけでなく、「学ぶ」、「体験する」という要素をバランス良く配置することで、知識を深めつつクラシック音楽を体感して頂ける企画となっております。</p>		
演目選択理由	<p>公演前半は当楽団の専門分野でもあるバロック音楽をしっかりと鑑賞頂けるよう、ヴィヴァルディ「四季」やバッハ「G線上のアリア」などの定番として知っておいて頂きたい名曲から、無名でも優れた作品を体験コーナーや解説を交えつつ配置致しました。後半は最も身近な楽器であるリコーダーの作品から始まり、ルロイ・アンダーソンによるポップスや近代音楽、歌曲など、幅広い内容を選択致しました。 ※詳細は別添B参照</p>		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>バロック音楽を中心としたクラシック音楽を体感していただけるよう、4種類の体験プログラムを準備いたしました。うち2種類は全員で体験していただくもの、2種は選抜メンバーに体験していただくものとなっております。 ・全員で体験していただく内容:①バロックダンスのコーナー、②共演のコーナー ・選抜メンバーに体験していただく内容:③ヴァイオリンの体験、④指揮体験コーナー また、上記4種のほかにも吹奏楽部や弦楽部などとの共演のご希望がある場合は対応いたします。 ※詳細は別添C参照</p>		
出演者	<p>指揮:高曲伸和 または 姜隆光 独奏/リコーダー:村田佳生 司会:伊豆田佑香 歌:中村朋子 または 渡辺有香 コンサートマスター:浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ 編成:Vn1 2/Vnll 2/Va 1/Vc 1/Cb 1/Cem 1 ※離島はチェンバロの代わりにリュートを使用</p> <p>●上記以外の出演予定メンバー(下記のメンバーでローテーション) 三谷彩佳・田畑佳子・小川菜奈・上田晶子・河村真央・松本紗希・黒江郁子・串田えがく・姜隆光・松井紀子・木田奏帆・若松芳 鷺見敏・小森奏・大熊勇希・橋本将紀・小鍛冶優子・高田泰治・高本一郎</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 12 名 スタッフ: 2 名 合計: 14 名	運搬	積載量: 3 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	9時	10時～12時		13時～14時半	10分	14時半～15時	15時半
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	15日	15日	15日	15日	10日	
	11月	12月	1月	計	105日	
	10日	10日	15日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	1～500人
		鑑賞人数目安	1～800人



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1～500人
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>1.観賞指導 ワークショップの最初には本公演の中核であるバロック音楽について解説致します。学校教育での音楽ではバロック音楽についてはバッハやヴィヴァルディについて少し触れる程度が通例となっていますので、クラシック音楽におけるバロック音楽の位置づけや通常のオーケストラとバロックのオーケストラの違い、演奏環境の違い(現在のように音楽専用ホールではなく貴族の邸宅で演奏されていたこと)などをお話いたします。</p> <p>2ミニコンサート 歌手と楽器奏者によるミニコンサートを実施致します。プロによる演奏を間近でお聴き頂くことで、本公演への期待感を高めます。</p> <p>3.歌唱指導 本公演の共演コーナーで共演予定の演目の歌唱指導をさせていただきます。実力派のソプラノ歌手が直接指導させて頂くことで、本公演当日の共演をより円滑に進め、なおかつ演奏のクオリティを高めることで児童・生徒の皆様への共演に対する満足感を高めるためにこういった形態を取らせて頂きます。 また、指導時に前奏・間奏・後奏の有無、繰り返しの有無などの他、事前に開催校様から取り寄せた楽譜と実際の演奏における細かな差を記録し、後日編曲者に報告します。児童・生徒の皆様へ「いつも通り」の伴奏が弦楽合奏版になった状態で共演して頂くためです。</p> <p>4.バロックダンス指導 本公演では18世紀に宮廷や社交の場で流行していたバロックダンスを実際に体験していただけます。中でも宮廷舞踏の花形として踊られた「メヌエット」は簡単な足のステップだけで踊ることが出来ますので、そのステップについて解説し、実際に楽器奏者の演奏するメヌエットに合わせて練習をして頂きます。</p> <p>※参加者の人数に応じて体育館や音楽室を使用して実施いたします。また、本公演での共演をより円滑に進めるために、ワークショップの様子を歌手と楽器奏者がそれぞれ観察・分析・記録します。その他の細かな状況については事務局を経て整理された情報が本公演に出演する演奏者に伝えられます。</p>		
<p style="text-align: center;">ワークショップの ねらい</p>	<p>ワークショップのねらいは下記3点です。</p> <p>1.本公演の鑑賞内容の予備知識を得て頂くことと、実際にプロの演奏家の演奏を少しお聴き頂くことで、児童・生徒の皆様の本公演に対する期待感を高めること。</p> <p>2.本公演で実施予定の体験コーナーのうち、「共演のコーナー」と「バロックダンス」についての事前指導をさせて頂くことで、本公演での体験をより円滑に実施出来るようにすること。</p> <p>3.ワークショップで得た情報をフィードバックすることで、本公演に向けての打合せや共演曲の編曲を円滑に進められるようにすること。</p>		
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>			

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

テレマン室内オーケストラ

】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p>i) 離島・へき地等における公演実績</p> <p>2012年 五島 1校</p> <p>2014年 沖縄島 1校</p> <p>2018年 奥尻島 1校</p> <p>2022年 与論島 1校 沖縄島 1校(予定) 天草上島 1校(予定)</p> <p>ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数かつ特殊な運搬方法を必要としない楽器を主として使用することで、開催地を選ばず同様の質の公演を各地で実施出来るように企画を立案しています。 ・離島やへき地等、チェンバロの運搬が難しい地域では代わりにリュートをを使用することで、同等の内容の公演を実施することが可能です。 ・バロックから古典派までの音楽ではコントラバスとチェロが同じパートを演奏するため、コントラバスを運搬することが難しい場合はチェロを増員することで対応致します。 ・「工夫」ではありませんが、当協会は元来小編成による演奏活動である室内楽を専門分野としている団体であるので、普段の活動のノウハウが活かせると考えています。 ・ワークショップは大型楽器等を使用せず、少人数で実施するため、離島やへき地であっても通常通りの形で実施可能となっています。 <p>iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本公演演目を演奏するためのために必要な最小限の編成で実施することで最小限の出演料や旅費で実施出来るようにしています。 ・離島やへき地の場合は無理に大型楽器を運搬せず、代替の楽器を使用しつつ品質を保った公演を実施することで、余分な経費が掛からないようにすることが出来ます。
----------------------------	---

リンク先		【公演団体名	テレマン室内オーケストラ 】
項目内容	<p>【1.オープニング】 A. ヴィヴァルディ: 歌劇「オリンピアード」序曲</p> <p>【2.楽器紹介】 ～弦楽器～</p> <p>【3.弦楽合奏の響き】 J.S. バッハ: G線上のアリア</p> <p>【4.演奏を交えて「四季」の解説】 A. ヴィヴァルディ: 「四季」より</p> <p>【5.体験プログラム】 ～ヴァイオリンを弾いてみよう～</p> <p>【6.チェンバロを聴いてみよう】 J.S. バッハ: メヌエット※離島は「リュート」</p> <p>【7.合奏協奏曲って何?】 A. ヴィヴァルディ: 「調和の靈感」作品3第8番 第1楽章</p> <p>【8.体験プログラム】 ～バロックダンス～ G.F. ヘンデル: 「水上の音楽」第二組曲よりメヌエット</p> <p>- 休憩 -</p> <p>【9.リコーダーの魅力】 T. メールラ: チャッコーナ A. ヴィヴァルディ: 室内協奏曲イ短調RV108 第1楽章</p> <p>【10.体験プログラム】 ～指揮者体験コーナー～ (W.A. モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジークより)</p> <p>【11.クラシックのポピュラー音楽】 L. アンダーソン: プリンク・プランク・プレック、舞踏会の美女</p> <p>【12.歌のコーナー】 オペラ・アリアなど</p> <p>【13.体験プログラム】 共演のコーナー(合唱による共演)</p> <p>【14.弦楽合奏の魅力】 O. レスピーギ: リュートのための古風な舞曲とアリア 第3番より</p> <p>【15.アンコール】 校歌</p>		

リンク先	【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】
項目内容	<p>公演前半は当楽団の専門分野でもあるバロック音楽をしっかりとご鑑賞頂けるよう、ヴィヴァルディ「四季」やバッハ「G線上のアリア」などの定番として知っておいて頂きたい名曲から、無名でも優れた作品を体験コーナーや解説を交えつつ配置致しました。後半は最も身近な楽器であるリコーダーの作品から始まり、ルロイ・アンダーソンによるポップスや近代音楽、歌曲など、幅広い内容を選択致しました。</p> <p>【1.オープニング】A.ヴィヴァルディ:歌劇「オリンピアード」序曲 短いながらヴィヴァルディらしく華のある作品であり、コンサートの幕開けとして相応しいため本作品を選択しました。</p> <p>【2.楽器紹介】～弦楽器～ オープニングの後にそれぞれの弦楽器を紹介いたします。楽曲としては、その都度児童・生徒の皆様にとってなじみ深いものを選択し、各楽器の音色や音域の違いなどを実感していただきます。</p> <p>【3.弦楽合奏の響き】J.S.バッハ:G線上のアリア 各弦楽器の紹介を終えた後、それぞれの弦楽器が合わさるとどのような響きになるかということを実感していただくため、定番の名曲でもある「G線上のアリア」を選択しました。</p> <p>【4.演奏を交えて「四季」の解説】A.ヴィヴァルディ:「四季」より ヴィヴァルディの「四季」はバロック音楽の中では是非とも知っておいて頂きたい定番中の定番の演目ということで選択いたしました。ソネットと呼ばれる詩の内容を音楽で表現したものとなっていますので、それぞれの描写について演奏を交えながら解説することで、より楽曲に対する理解を深めて頂きます。</p> <p>【5.体験プログラム】～ヴァイオリンを弾いてみよう～ 弦楽合奏とヴァイオリン協奏曲をお聴き頂いた後で、選抜メンバーにはなりますが、実際にヴァイオリンに触れて頂くことで、より理解を深めて頂けるよう選択いたしました。</p> <p>【6.チェンバロを聴いてみよう】J.S.バッハ:メヌエット※離島は「リュート」 チェンバロはピアノと似た楽器ではありますが、構造や音色が全く違いますので、チェンバロだけを取り出してお聴き頂けるよう、児童・生徒の皆様にもなじみの深い演目として本作品を選択しました。解説ではバロック音楽に特有の「通奏低音」についてもご説明いたします。離島など、チェンバロの運搬が難しい地域の場合はチェンバロの代わりにリュートでシチリアーナなどをご鑑賞頂きます。</p> <p>【7.合奏協奏曲って何?】A.ヴィヴァルディ:「調和の靈感」作品3第8番 第1楽章 合奏協奏曲はバロック時代に盛んであった様式ですので、その中からテンポが良く鑑賞していただきやすい本作品を選択いたしました。</p> <p>【8.体験プログラム】～バロックダンス～ヘンデル:「水上の音楽」第二組曲よりメヌエット バロック時代に実際に踊られていたメヌエットは、基本の振り付けは簡単ですぐに覚えられるため、実際に踊って頂くことでバロック音楽の楽しさを体感して頂けるよう、本作品を選択しました。</p> <p>【9.リコーダーの魅力】 T.メルラ:チャッコーナ / A.ヴィヴァルディ:室内協奏曲IV短調RV108 第1楽章 日本人にとって最も身近な楽器であるリコーダーですが、バロック時代には教育用の楽器ではなくヴァイオリンやオーボエと同じようにリコーダーのために協奏曲やソナタが書かれました。本公演ではリコーダーが独奏楽器として用いられ始めた初期バロックのメルラ「チャッコーナ」と、リコーダー全盛の後期バロックからヴィヴァルディ「室内協奏曲」を取り上げます。リコーダーの技巧や音色をしっかりと鑑賞していただけるよう、この2曲を選択いたしました。</p> <p>【10.体験プログラム】～指揮者体験コーナー～(W.A.モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークより) 有名なアイネ・クライネ・ナハトムジークで指揮者の体験をして頂きます。4/4拍子で指揮しやすく、どなたでもご存知の曲ということでこの作品を選択しました。</p> <p>【11.クラシックのポピュラー音楽】L.アンダーソン:プリנק・ブランク・ブレンク、舞踏会の美女 クラシック音楽の中にも楽しい作品があるということをご紹介したく、この2曲を選択しました。プリנק・ブレンク・ブランクは弓を使用せず、弦を指ではじくピッチカートのみで演奏される作品ということで、これまで演奏してきた作品群とは全く違った表現を実感して頂けます。舞踏会の美女は華やかなワルツで、同じ三拍子の曲でもバロック時代のメヌエットなどとは全く違った雰囲気味わって頂けます。</p> <p>【12.歌のコーナー】オペラ・アリアなど バロックのソプラノのためのアリアなどを演奏いたします。華やかな技巧を駆使した歌曲を歌うことで、楽器が無くても出来る「歌う」という行為の凄さを実感して頂きたく、選択しました。</p> <p>【13.体験プログラム】共演のコーナー(合唱による共演) 普段音楽の授業などで歌われている曲のピアノ伴奏をオーケストラに編曲して、児童・生徒の皆様には合唱で共演して頂きます。</p> <p>【14.弦楽合奏の魅力】O.レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリア 第3番より 20世紀初頭にはバロック音楽をリバイバルすることで新しい作品を生み出すという流れがありました。本作品もリュートのための作品をレスピーギが編曲して新しい曲にしたものです。バロック音楽の違った側面を体感して頂きたく、本作品を選択しました。</p> <p>【15.アンコール】校歌 普段のピアノ伴奏をオーケストラに編曲して、児童・生徒の皆様には合唱で共演して頂きます。</p>

リンク先	【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】
項目内容	<p>バロック音楽を中心としたクラシック音楽を体感していただけるよう、4種類の体験プログラムを準備いたしました。うち2種類は全員で体験していただくもの、2種は選抜メンバーに体験していただくものとなっております。</p> <p>【全員で体験していただく内容】</p> <p>①バロックダンス～ヘンデル:「水上の音楽」第二組曲よりメヌエット バロック時代に宮廷で踊られていたガヴオットは、ステップのみのシンプルなダンスです。そのガヴオットを、楽曲に合わせて踊ってみることで、身体表現を通じて楽曲のイメージを捉え、バロック音楽の楽しさを体感していただけます。</p> <p>②共演のコーナー(合唱による共演) 普段の音楽の授業などで取り扱われている楽曲を、ピアノ伴奏ではなく弦楽合奏の伴奏で歌って頂きます。具体的な演目については、事前にご希望をお伺いし、楽譜をお送りいただき、編曲致します。特にご希望のない場合はこちらから曲を提案させて頂いております。</p> <p>【選抜メンバーに体験していただく内容】</p> <p>③ヴァイオリンを弾いてみよう ヴァイオリンの弓で弦を振動させ、音を出してみるという体験となっております。開放弦(左手の指で押さえない音)のみで演奏可能な曲を使用し、実際にアンサンブルに加わっていただけます。</p> <p>④指揮者体験コーナー～(W.A.モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークより) 弦楽合奏を指揮するという体験をして頂きます。演目はどなたでもご存知の名曲で4/4拍子のため指揮をしやすいアイネ・クライネ・ナハトムジークを選択しました。</p> <p>また、上記4種のほかにも吹奏楽部や弦楽部などとの共演のご希望がある場合は対応いたします。</p>